令和５年度県中体連調査研究部
部活動指導者意識調査まとめ

この調査は、「運動部活動等の在り方に関する方針（改定版）」を基に、運動部活動の現状や課題及び休日の地域部活動移行についての意識調査を行う目的で作成しています。令和４年度にも同様なアンケート調査を行っているので、比較できる項目もあります。

部活動に関する改革が加速している今日，生徒をはじめ，生徒たちを支えている保護者，指導者がその変化に適応し，ともに望ましい運動部活動を目指していくとともに、新たな地域クラブ活動も含め，生徒たちのスポーツ活動の最適化に向けた取り組みの一助資料となれば幸いです。

【見えてきた現状と課題】

１：「運動部活動等の在り方に関する方針（改定版）」の周知について

○　今年度は、昨年度実施したアンケートの考察を踏まえ、「周知があった」という回答項目を「Ａ　内容の重要部分の確認と周知があった」と「Ｂ　回覧による周知方法であった」の２つに分けた。この２つの回答項目を足すと、昨年度と同様の６６．８％である。しかし、「Ａ　内容の重要部分の確認もあり、しっかり周知があった」という項目は、３２．１％であった。

➽　本県における部活動の適切な運営に関する共通事項であるため、年度初めや年度途中（新チームスタート時）等のタイミングで「運動部活動の在り方に関する方針（改訂版）（令和３年１２月沖縄県教育委員会）」の確認を行い、部活動の適切な運営に繋げてほしい。今後の地域クラブ活動へも周知が必要となる重要な内容であるため、各学校に応じた共通理解・共通実践の依頼を各地区中体連から発信し、部活動に携わる全ての方への周知を目標としていきたい。

２：部活動における暴力・暴言・ハラスメントの根絶に向けた取組について

○　「部活動における暴力・暴言・ハラスメントの校内相談体制（窓口）を設置し、指導者・部員・保護者へ周知していますか」の項目で昨年度と同様に「周知していない・設置していない・分からない」の回答が多かった。

➽　実質的に多くの学校が、顧問・副顧問・担任・副担任等を通し、部活動担当教諭や部顧問会・管理職という体制を取っていると思われるが、校内相談体制（窓口）が具体的に示されていない状況の学校多いのではないかと考えられる。年度当初や新体制でのスタート時等で部活動の相談体制についての整理・確認・周知が必要である。学校・指導者・部員・保護者が一丸となり、暴力・暴言・ハラスメントを根絶するとともに、生徒の人権が尊重され、健全で充実した適切な部活動が実現されるよう取り組んでいく必要がある。

学校においても、校内相談体制（窓口）の設置が急務となります。

３： 適切な指導・運営及び管理のための体制の構築について

○　「平日の１日以上の休養日を設けている」部活動は約８７％である事がわかった。昨年度は、９９％の部活動で「平日の１日以上の休養日を設けている」とあった。

○　休日１日あたりの平均的な指導時間について、今年度は、約５２％の部活動が「３時間以上」活動していると回答した。昨年度は、約９２％の部活動が「３時間程度の活動である」との回答であった。

○　「現在の活動量は適切であると思いますか」に対して、約３７％の教職員が「Ａ　多すぎる、Ｂ　やや多すぎる」と回答したが、８８％の指導者が「Ｄやや少ない、Ｅ　少なすぎる」と回答した。現在の活動量（時間や日数）については教職員と指導者の考え方に大きな差がみられた。

➽　コロナ感染症が感染症法の５類に引き下げられ、通常の練習や大会が開催されてきた影響があると考えられる。しかし、 スポーツ医・科学に基づく活動時間の基準等を踏まえて沖縄県教育委員会が定めた活動時間（週１１時間程度）についての理解を深め、成長期にある生徒が、バランスの取れた生活を送り、それぞれの目標達成に向けて取り組めるよう更に周知を図ることが大切だと考える。

【 本アンケートの結果及び考察を受け、職員会議や部活動顧問会等で活用できる資料を紹介いたします。下記のサイトにアクセスしてください。 】

保健体育課ポータル　運動部活動サイト

【URL】
https://sites.google.com/view/kenkoutaiiku/%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E4%BD%93%E8%82%B2/%E9%83%A8%E6%B4%BB%E5%8B%95

○「スポーツにおける新しい指導スタイルについて」
琉球大学 教育学部　教授　宮城 政也　先生

○「Play True と Sports Integrity」　～子どもたちに夢を与える教員に～
琉球大学 教育学部　教授　三輪 一義　先生

○「暴力・暴言・ハラスメントの根絶」に向けた部活動指導者研修会　講義動画
「不適切指導をやめられない理由　やめられた人のプロセスとそのポイント」
ジャーナリスト　島沢　優子　氏

○生徒の主体性を尊重する望ましい部活動の在り方について
前原高等学校長　宮城敏也　先生

※本サイトには、他の研修動画もあり、配付資料の添付もあります。ぜひ、ご活用いただき、運動部活動の適切な運営につなげていただければと思います。